



事業概要

- 都民に地域活動を自分事として考えてもらうきっかけづくりとするために開催
- 若い世代が町会・自治会などの地域活動に関心を持ちにくいという現状を踏まえて、若者から誰もが気軽に地域活動に参加できるアイデアを募集し、若者から発表

開催概要

【日時・場所】

○区部

日時：令和7年12月7日（日） 14時～16時

場所：都民ホール

○多摩地域

日時：令和8年1月18日（日） 15時～17時

場所：立川市女性総合センターホール（アイムホール）

【内容・パネリスト】

第1部：基調講演 東京都立大学 和田 清美 名誉教授
アイデア発表 若者世代のアイデア提案者

第2部：パネルディスカッション

- ・和田 清美 名誉教授
- ・ラランド ニシダ さん
- ・アイデア提案者
- ・町会関係者

区部：吉成 武男 会長（東京都町会連合会）

多摩地域：西手 正光 会長（立川市自治会連合会）

地域とつながる若者フォーラム



区部

【提案アイデア】

○立教大学 阪口ゼミ

「大学生は地域のサポーター！自治会との協働プロジェクト」

夏祭りをはじめとする団地自治会のイベント運営、役員会に大学生が参加



○立教大学 災害復興支援団体 Three-S

「RE: CONNECT TOKYO」

「もし〇〇という災害が起こったら」という状況を想定し、参加者がチームで協力して災害を乗り越える体験型サバイバルゲームを実施



○NPO団体 MURP

「『世代や地域の壁を飛び越える』 学生発信の取り組み」

地域のイベントの企画運営、行事への参加、広告物等の制作を通して、「人と人、まちと人をつなぐ」



【ディスカッション】

- 若い人は楽しいと思えることに参加してくれるため、**若い人が楽しそうと思える活動にすることが、参加を増やすために重要になる**
- 地域活動に協力できるときだけ協力する「サポーター制度」など、**地域活動への関わり方のバリエーションを増やしていくことも必要**になってくる。
- 世代間で考え方にギャップが生じることはあるため、しっかり話し合っ**て、相互理解、信頼関係を構築することが大切。**

地域とつながる若者フォーラム



多摩地域

【提案アイデア】

○持続可能な日野の未来を創る高校生チーム「ひのミラ」

学生を中心に様々な年代が出会い、相互に学び合い、地域課題に対して実際にアクションを起こせる場をつくる



○しなデジ

(一般社団法人モノづくりXプログラミング for Shinagawa)

「若者のデジタルスキルで町会アップデート」

地域の若者が町会・自治会のオンライン化（オンライン配信、動画制作、ツール導入支援、イベント企画など）をサポート



【ディスカッション】

- 会員に限定せずに、地域の若者、企業などを巻き込んで、地域活動を活性化させていく必要がある。**
- 高圧的な言葉遣い等は、若者の参加意欲を削ぐことになるため、**町会・自治会側が若者を受け入れる姿勢を持つことは不可欠。**
- デジタルを活用することが、町会・自治会活動に参加するハードルを下げることにつながるのではないかな。
- 高校生などの若者世代は、入り口が分からないことに加え、お堅いものと感じて、地域活動などに入りづらさを感じているため、**「楽しい」と思える活動にすることが参加のきっかけ**となる。

※フォーラムの概要については、こちらからご確認ください。

https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/chiikitabunka/chiiki_katsudo/chiikiryoku/0000002565

